



永久平和を願って 次世代に戦争体験を語り継ぎたい

私の戦争体験談 ⑨

秘書広報課
☎24-8801

「一億総決起」「撃ちてしまはん」の声高らかな昭和20年4月、私は小豆島の母校、土庄小学校に赴任した。けたたましく空襲警報のどよめく最中、男子教員は軍属に召され、学校長と他に2人、女子は新任教師を含む10数人が校内の運営に当たっていた。当時の学



体育は実戦中心に。女子も薙刀訓練

童は小学校6年を卒業後、その高等科2年まで学ぶか、受験を経て、希望の5年制中学校や女学校または、実業学校に進学するのだった。

全ては

戦争のために

赴任して初めての日は、5年生以上の勤労作業日だった。学校から遠く離れた山林からの薪運びである。巻き脚絆の学校長を先頭に、既に切られた雑木3、4本ずつ縄でくくり背負って帰るのである。今様二宮金次郎たちが、曲がった山道を荷崩れに、足をとられつつ汗を流しながら助け合い、親しさを覚えるのであった。

翌日よりいよいよ学習「欲しがりません勝つまでは」と鉛筆一本も上下から削って使う質素な習慣、教科書も新聞紙の大きさの紙

空襲下に生きる

学童と女教師

飯山町 山本 治子さん

を3回折った面々を広げての学習、また、音楽なども士気を鼓舞する軍歌が高らかに歌われていた。凶工なども当時の艦船や飛行機のシルエットを見て、その名称や効能を判断する即戦的要素が取り上げられた。

また、実戦につながる体育は、強靱な精神力とその体力が最も重視された。運動会には、歩調を揃えての分列行進や裸体操、即戦的な手旗信号の発表もあり、女子も負けじと白鉢巻きに「エイ「ヤア」と掛け声勇ましい薙刀訓練や非常時の世相を背景に救急担架訓練など、実戦的プログラムが多く発表されていた。

その頃町内の人々は、敵機から「近日中に爆弾投下」の厳しいビラの散布に、顔色を変え戦々恐々の緊張に溢れていた。

元米米作の無い島では、朝食はお粥が主で、特に、戦時中は糠パンやサツマイモ、時には芋蔓、雑穀などの厳しい食生活であった。

重爆撃機の編隊10機余り、こちら目指して飛来する。「しまった！ どうしよう！」30人の命危うし。私は動転しつつ「伏せ」と叫ぶ。児童一斉に道辺の麦畑に潜り込む。頭巾を両手で抱え1秒：2秒：3秒頭上からは大地を裂かんばかりの大轟音。息を止め目を瞑り、無我夢中に神に祈りつつその時を待つ。ドカンと大きな破裂音の錯覚に仮死状態しぼし続く。

工場に帰りいつものように、かましい動力ミシンの音と渦巻く埃の中に、軍衣のボタン付けに勤しむ学徒14歳の姿であった。とある日の昼食後、工場前の瀬戸内海遙か屋島の沖で、日本の輸送船らしい船影が、敵機編隊の集中攻撃を受け、のたうち廻り艦船

不戦の誓いを胸に

「同じく震えながら震えの止まらなかった一時であった。青ざめた顔、涙ぐむ顔、生涯忘れ得ぬ体験こそ、苦境に生き抜く今後の原動力になる事と思われた。



運動場が野菜畑になり収穫を喜ぶ

そんな中で非常食や、当座の着替え以外の衣類は梱包して、地下倉庫や山間の洞穴などに疎開貯蔵するなど、大空襲の備え万全で、夜間の特に厳しい灯火管制に町民の神経はただならぬものがあつた。

学徒動員の命下る

そんな慌ただしい非常時、ついに学校にも学徒動員の命が下された。私ども高等科1年女子組30人謹んで受け、身の引き締まる思いだった。

今日よりは、われ19歳の女教師、校長兼女教師引率責任者兼看護師の重任が、肩にずしりと重く、身の引き締まる思いと覚悟であった。

古着の紐で作ったモンペ姿に、綿入れ防空頭巾と救急袋を肩への出で立ちである。毎朝奉安殿前に学徒一同整列、最敬礼、高らかに「勝ち抜く誓い」の宣誓、再びは家に帰らぬ「行きます」の出発のことば。4列縦隊に軍歌も高らかな学徒の出陣、今日よりはペンを捨て軍被服工場へ縫製参加の尊い使命。工場への道のり5キロ余り。

ある朝、人家無く麦畑一面の農道にさしかかった時、前方遙かより爆音の響き、目を凝らせばB29

しさに地団駄を踏むのみであった。何の反抗もできず、自分を悔しめ残念がるのみであった。こんな悲惨な戦場を目の前にして、学徒少女たちは「いやだ！こんな戦は二度としてはならない」と不戦の願いを強く固く誓うのであった。

- 荒海の時の流れに
採まれ採まれ
遅しかりき学徒の乙女は
- 遠つ日の苦しみ悲しみ
秘めもちて
漸く香る梅花清しも
- 右上がりの癖字はそのまま
綿々と賀状の交流
七十余年を

年末年始の 業務案内

市役所代表 ☎23-2111

市役所の業務は、年末は12月28日(水)まで、年始は1月4日(水)からです。ただし、出生・死亡・婚姻など戸籍の届け出は、市役所・市民総合センターの守衛室で受け付けます。

■主な施設の業務案内

施設名	年末12月	年始1月
市役所 本島・広島市民センター 綾歌・飯山市民総合センター ひまわりセンター 綾歌保健福祉センター	28日(水)まで	4日(水)から
飯山総合保健福祉センター 入浴施設・歩行プール 12月27日(火)まで1月5日(木)から		
市民会館 生涯学習センター 児童館 東小川児童センター 飯山総合学習センター 資料館 エコ丸工房 市民体育館 飯山総合運動公園	27日(火)まで	4日(水)から
サン・ビレッジ土器川 中央図書館 綾歌図書館 飯山図書館	28日(水)まで	5日(木)から
ミモカ(美術館)	24日(土)まで	元日から
アイレックス	27日(火)まで	5日(木)から
湯舟道	30日(金)まで	2日(月)から